

## 学校における保護者の経済的な負担軽減に係るアンケート集約（小学校）

□保護者の経済的な負担を軽減するために、現在学校で取り組んでいること

### 【教材購入等について】

- ・教材として個人が使う画用紙や半紙などの消耗品を学校予算で賄っている。
- ・個人で負担する教材や教具を精選し、集金額をできるだけ押さえるようにしている。
- ・「算数セット」について、使用しなくなった上学年児童からの無償提供を呼びかけ、1年生児童分の教具を学校で用意し、新入児童に新たな購入を呼びかけない。
- ・テストやドリル類はまとめテストがついていない物（枚数が少ない物）を選んだり、漢字ドリルは比較検討し、一番安い物を全校統一で採用したりしている。
- ・教材についても、実験等に必要なものであり、使用しやすく低価格のものを選ぶようにしている。
- ・学校菜園で収穫した野菜（大根、さつまいも、じゃがいも、なす）と学校田の米を使い昼食をつくる機会を設定し、弁当の負担軽減をしている。
- ・児童が使うファイル等の消耗品は学校で一括購入し単価を抑える。
- ・理科の実験等に必要な教材については、予め公費で1学級児童数分購入しておき、児童が個々に購入する負担を軽減する。
- ・算数セット、ピアニカなどの教材は、今まで使っていたが、卒業して必要なくなった物などを集めておき、児童に購入させない。
- ・本校では習字の半紙や算数セットのおはじきや計算カード、時計など、学校にある物を使用し、保護者に負担してもらわなくていいように配慮している。本年度の1年生の鍵盤ハーモニカも真新しいものはほとんどなく、皆お下がりである。（デザインや色でわかる）
- ・入学説明会の際、新しい物を揃える必要はなく、今まで使っていた物を大事につかうようにと促している。実際には鍵盤ハーモニカ、はさみ、クレパスなど、子ども園から使っていた物を使っている。
- ・学校スキー用具の充実（同窓会・PTA・地域からの支援によりスキー用具を全児童数分配備しているため、スキー教室参加における貸スキー代不要）

### 【制服・体操服について】

- ・学校体操服（長袖・長ズボン）の指定・・・年間を通じて体育授業や学校行事に関わって必要なため、半袖半ズボン以外についても指定（高価なトレーニングウェア等購入の抑制）
- ・従来より制服を採用している。 ・制服の男女兼用化（紺色の同色、ボタン穴の両有）
- ・鞆については「背負えるものなら何でも良い」と説明している。ランリュックの子もいればお下がりのランドセルの子もいる。他府県からの転校生は皆ランドセルだが、違和感なくそのまま使用している。また卒業式の服装は一回限りであるので、新しいものを準備しなくてもいいよう、保護者の取り決めで中学校の制服を着用している。中学校を卒業した生徒にもらって、それをそのまま利用するので、中学校の制服も誰も購入していない。（地元の洋服屋さんには売れなくて困っているが）
- ・体操服も保護者の間で（中学校の制服のように）やりもらいされているようである。

### 【校外学習について】

- ・校外学習には、民間バスを利用せず、市バスを利用している。
- ・市補助金の有効活用（校外学習、修学旅行）
- ・各種団体からの補助金有効活用（教育会等）や湖西線の利用

### 【就学援助について】

- ・就学援助申請に係る保護者支援(書類の書き方・添付証明書の確認 等)
- ・就学援助の案内など、保護者に情報提供をしながら、経済的に困っておられる保護者に寄り添っていく。

### 【学年費について】

- ・学年費の計画段階にて公費負担ができないかという視点で見直している。
- ・学年に消耗品購入のために一定金額の公費を配分し、用紙類の購入に充てる（本校の場合各学年年間1万円）。
- ・学年費を預かる事務職員が、他校の学年費の金額を情報共有し均衡を図るために、担任に対して助言する。
- ・市内小中学校 事務職員で学年会計執行状況の情報共有。
- ・公費と私費の出納担当を事務職員が行うことにより、トータルでとらえる。

### 【その他】

- ・外部発注を少なくし、職員の手による修繕、営繕
- ・リサイクル、リユース、リデュース、リペアー等の考え方の徹底
- ・外部講師の有効活用（無償で依頼）
- ・紙の裏面利用の徹底（印刷紙面の徹底チェック後）
- ・校舎内外美化の徹底（すっきりした環境整備から節約は始められる）
- ・PTA主催でリユース交換会を実施し、制服や文具などの再活用に努める。
- ・PTAリサイクルバザー（制服・体操服・運動靴・校内履・体育館シューズ・スキー用具用品 等）
- ・持ち物が整わない児童・家庭への物品貸与(靴・服・体育館シューズ等のリサイクル呼びかけ→PTA・教職員・地域)
- ・修学旅行の業者選定：3社から見積もり。 ・入学用品についての業者選定：2社からの見積もり。

## □今後、保護者の経済的な負担を軽減するために、学校で取り組みそうなこと

### 【教材購入等について】

- ・個人で購入しなければならないもので高価なもの、（ピアノカ、習字セット、裁縫セットなど）を学校で準備できればよいと思うが、予算は削られる一方で難しい。
- ・校内財務委員会を開き、購入教材の費用対効果を考えながら、使用教材について検討していく。
- ・図工などで工作をする場合も、周りの自然のものを利用して工作セット等の業者購入をしない。
- ・彫刻刀やそろばんなどの教具を希望者に購入斡旋しているが、年に数回しか使わないので、公費で買いそろえ学校に備えておく。（ただし、彫刻刀はさびて切れ味が悪いと危険なので手入れが必要）

### 【プリントの作成等】

- ・自作プリントを増やしたり、必要な教材を学校備品で対応したりして、保護者負担を減らす。
- ・計算、漢字ドリル等の教材を教育研究所を中心にデータベース化をはかり、市内の学校が自由にダウンロードできるようにする。(可能な限り)
- ・国算および夏のドリルを購入しない。(ただしそれに代わるものを学校で用意する必要があり、教員の負担は増える。)
- ・業者のドリル等は購入せずに手づくりのものや総合教育センターの資料を利用する。

### 【制服・通学靴等】

- ・制服の廃止(あるほうが負担が少ないという面もある)
- ・できるだけ安価な制服や通学靴を導入する。
- ・体育館についても、上靴でもよいのなら体育館シューズは購入させる必要はない。成長とともに購入すべき上靴が2種類必要なので、体育館シューズがない学校とある学校では、上靴に要する経費が2倍違うことになる。

### 【スキー教室】

- ・例えば3～6年生で実施しているスキー教室を5・6年生で実施するようにするなど、保護者負担を要する校外活動を縮減する。
- ・スキー教室はレンタル料以外に、手袋やスキーウェアを用意しなければならないので負担が大きい。このような保護者負担の大きい行事を思い切って減らすかなくしていく。  
ただし、「市内にスキー場があるのに利用しないのか」「魅力ある学校作りのために行っている独自の取組をなくしていくのか」という声が出ないか(今回とは逆の立場で、議会の一般質問に出されないか)と心配する。

### 【PTAの協力】

- ・省資源教育の徹底(PTAへの啓発)
- ・PTA活動を縮減し、会費の額を下げる。
- ・PTAと連携し、今ある制服を無くしてしまうことは可能と考える。ただし、制服があるから洋服を買わなくて済むという意見もあるのも事実であるし、市の呉服組合が学校によって支えられていることも事実である。以前は男女異なる二色であったものが平成になって色が一色になった経緯がある。

### 【その他】

- ・物を大切に扱うという観点から、児童には文房具を最後まで大切に使うことを指導し、保護者にもあまり頻繁に買い換えないようお願いする。
- ・+ONE運動の徹底(職員がたった一つ仕事を増やせば、外注件数は沢山減らせるはず)
- ・公費の増額
- ・放課後教室等で受験対策をする
- ・より一層の環境美化(すっきりした環境から無駄遣いは減らせる)
- ・5年生の道徳に「流行遅れ」という資料がある。それを使って授業する度に、子どもたちに「物を大

事にする事が、実は自分の心も生活も豊かにすることだ」と伝えたいと思う。そんな心を育てたいと思う。

- ・就学援助費の支給額を上回らないように学年費の上限目標を設定する。

□【小学校のみ】特にランリュックやランドセルについて、今後自校ではどのように考えていく予定か。また、ランリュックに統一するような働きかけを保護者にした場合、どのような問題が考えられるか。

#### 【ランリュック】

- ・現在、本校校章入りのランリュック（8000 円）を入学時に購入してもらっている。転入児童については従来使っていたカバンの使用を認め、本校指定のランリュックの購入はすすめていない。本校では今後も、現在の方法を続ける予定である。ランリュックは安価であり校外学習等でも活用できるため、負担軽減につながる。ただ、個性を重視したいという保護者の要望があるのも事実で、ランリュックに「統一」することには十分な説明が必要であると考えます。
- ・既にランリュックを採用しているため、問題なし。ただし、今後A版教科書ノート対応のため【大】サイズのランリュックに変更することを検討している。(現行サイズの価格帯から4千円程度値段が上がるが、業者によるとB版対応【中】サイズは廃版になる見込みであるということから、概ね保護者の理解は得られると考える。)
- ・今後もランリュックで考えています。現在ランリュックになっているので、ランリュックに統一されても問題はない。但し、転入生がランドセルを持っていたら、ランリュックを強制することはむずかしいと思う。(新たに購入してもらうことが保護者負担を増やすことになる)
- ・本校では、入学説明会の折に、「ランドセルやランリュックなど(両手があくように背負える物)」という説明をしている。実際にはランドセルがほとんどだが、限定はしていない。
- ・今後も今まで同様、「背負えるものなら何でも」という姿勢で。1月の入学説明会でもそのように説明する予定。ランリュックは6年間で汚れるがランドセルは丈夫で長持ちするので、兄弟や従姉妹や親戚からもらう子もいる。また今年転校生が4人あったが、皆ランドセルであった。もし、学校でランリュックに統一していたとしたら、新たにランリュックを購入することになり、不経済である。本校は背負えるものなら何でも良いと言ったら、そのままランドセルを使用できることを喜んでおられた。先日「伊達直人」の名でランドセルを贈り続けていた人が、孤児でランリュックもランドセルも靴も買ってもらえず風呂敷で通学したと話しておられたが、そのような環境の子が一人もなくなることを願う。統一より物を大事に使うことの方が大事ではないかと思う。古いものこそ値打ちがある、という観念を育てたい。また、何を持っていても卑下しなくてもいいような環境であるように学校が努力することも大事。

#### 【ランドセル】

- ・現在本校は全員ランドセルです。ランドセルについては保護者からの希望や意見はないので暫くは現状維持を続けようと考えている。ランリュックは、6年間もたない子どもが多い。また構造的にもろいので形が崩れやすく、見た目にもすばらしくなりやすいので、ランドセルの方がよいと考える保護者がおられると思います。現時点でランリュックに変更すると、ランドセルではダメなのかという意見が必ず出てきます。ランリュックに移行していくためには、暫くどちらでもよいという期間を設けからの移行になると考えます。ランドセル業界のことを考えると、将来的にもどちらでもよいとして

保護者の判断に任ずるのがよいのではと考えています。

- ・学校としてはこれまでどおり、入学説明会の折に、「ランドセルやランリュックなど（両手があくように背負える物）」という説明をしていく。親の立場で考えると、選択の権利は残してほしいという意見が出るだろう。金銭的な問題だけでなく「ランドセルを背負って学校に通う我が子の姿を見たい」という親心、「孫にランドセルを贈りたい」という祖父母の楽しみを考えない、ランリュックに統一するという市の意向がどこまで理解されるか。
- ・ランリュックは、ランドセルに比べて安価で軽く、校外活動にも使えるという利点がある一方で、汚れやすく（汚れが目立つ）容量が少ないという欠点がある。ランドセルは、丈夫で十分な容量があるという利点がある一方で、高価であるという欠点がある。（通販サイトで買うと物を選ばなければ5,000円程度で買える物もある。）

本校では、特にカバンの指定はしていないが、すべての児童がランドセルを使用している。本校としては、上記のように双方とも利点・欠点があることから、今後特にランリュックを指定統一する予定はない。（保護者の判断でランリュックを使用されることに問題はない。）

仮にランリュックに統一した場合、保護者からは、『教科書や学習用具等が全て入りきらず、別のカバンを持たさなくてはならない』といった意見が寄せられることが予想される。

- ・現在のところ、保護者からの要望は全くなく、子や孫にランドセルを買ってやることで「成長や進学喜び」を感じるという意見は聞いたことがある。よって、本校では、ランリュック化を進める計画はなく、ランリュックに統一する場合は、PTAの役員会等、慎重な議論を重ね、検討が必要。
- ・現在、ランドセルを使用しており、今後もランドセル使用の予定。
- ・ランリュックの欠点は、その柔らかさで、中に入れた物が、つぶれたり曲がったりすることである。ランリュックも以前に比べると随分堅くなってきているが、ランドセルの強度の比ではない。また逆にランドセルはその重さが弊害であったが、現在ではとても軽くなっている。さらに、ランリュックは、学年が上がって重いものを入れ続けると底が破損しやすいという欠点がある。そのために大小二つのサイズがあり、高学年で二つ目を購入する家もある。

#### <ランリュックへの変更の場合>

- ・ランドセルをどれくらいの比率で保護者が買っているかについては、把握していないが、ランドセルは入学時に準備するものであるため、祖父母を始め親戚の方達がお祝いに送りたいという要望を持つておられることは容易に推察される。ランドセルは学用品の一つで、個人の持ち物でありまた指導に使う学習教材でもないため、一方的に教育委員会なり学校なりの主導によって変更することは難しく、制服と同じくPTAで先に考えるべきものである。ランドセルの品質によってそれがいじめにつながるとしたら、学校や親の指導が問題なのであって、ランドセル（持ち物）の問題ではないと考える。学校ではみんな違っていいと教えていることから、貧困対策として考えるのであれば、ランドセルが高価であるからと安価なランリュックに統一するのではなく、かばんも服も自由にするか、ランリュックを市から支給すべきと考える。なにより小学生にしわ寄せが来るような貧困問題を作らない社会の構築を願う。

#### 【その他】

- ・個性の喪失
- ・色彩教育の後退

- ・オリジナル思考の後退
- ・地域経済圧迫
- ・民業圧迫（官による）
- ・そもそも、かばんだけが貧困問題やいじめ問題の原因になっているのか。
- ・「自分だけの○○!」小さな子にはこの考えが非常に大切、これがなくなる
- ・ランリュックにすると、日常から校外学習から登山や遠足等、全てこれ一つで済ませるので、損傷が激しい。物を大切にしなくなる。
- ・入学説明会では、ランドセルやランリュックなど背負えるものでということになっており、デイパックやランドセルなど家庭にあったもので通学している。ランリュックをわざわざ買うことになると、かえって保護負担が増える。現状のままにしてほしいという意見が出ると考えられる。児童は今後最大3名で推移する予定なので統一する必要もない。
- ・ランリュックにする場合は、入学予定児童の保護者に、早い段階で、ランリュックがどんなものなのか（耐久性・購入費用、使用方法等）を事前に説明する必要有り。（入学説明会では遅い）
- ・保護者は自分が小学校に通っていた時の記憶や経験がベースになって考えるので、ランリュックだった方はランリュックがいい、ランドセルだった方はランドセルがいいと思われるのではないか。

## 学校における保護者の経済的な負担軽減に係るアンケート集約（中学校）

### □保護者の経済的な負担を軽減するために、現在学校で取り組んでいること

#### 【教材購入等について】

- ・学年費等の未納が続く保護者には、就学援助の紹介をし、手続きを勧めている。
- ・個々の生徒の家庭事情に配慮し、できることがあればその都度行う。
- ・すでに卒業した兄や姉からの可能な限りの使い回しができるように配慮している。
- ・年度当初の副教材利用申請時に、各教科主任に利用頻度の高い最低限の申請をするように指示をしている。
- ・教育活動を行うに際し、経済的な保護者の負担が大きくなるように、常時、考慮しながら見直しを重ねている。
- ・3年生のまとめ学習教材、柔道着、教具などは、新たに購入するのではなく、代替品を認めている。
- ・副教材の精選。ワークブックや問題集・資料集など、授業で活用する教材を可能な限り少なくしている。また、計画的な購入を行ったり、手作り教材などを作成している。
- ・教材選定委員会を開催し、適切な教材採用して学期ごとに支出計画をたて、学年費の計画的な支出に心がけている。
- ・一人ずつに渡す教材以外の細かな材料費などは公費で負担している。

#### 【部活動について】

- ・部活動で校外に出て行う練習試合は、できる限り市公用バスを利用するかJRの団体乗車券を利用している。
- ・部活動で使用する道具やユニフォームなどは、業者を通して斡旋し、できるだけ安い価格で買ってもらえるようにしている。

#### 【服装・その他について】

- ・ウィンドブレーカーなどは、今あるものや業者の斡旋で選択できるようにしている。
- ・制服や体操服、柔道着等の保護者間でのリサイクルの推奨。
- ・体操服のTシャツは、指定は無く、白のワンポイントを認めている。
- ・通学用のカバンは特に指定していない。
- ・進路に関わって、各種の奨学金の紹介をしている。

### □今後、保護者の経済的な負担を軽減するために、学校で取り組みそうなこと

- ・現在の取組の継続
- ・問題集などネットからフリーとして取ってこられる。あるいは、市で統一したものを使えば、単価が安くなるのではないだろうか。
- ・各教科等の研究会で、副教材等の選定に関する情報交換をすすめ、保護者負担の軽減につなげる。

- ・制服などの再利用を促進する。(卒業生から、不要になった制服や体操服を譲ってもらい、無償で貸し出して、負担軽減にあてる)
- ・学校の取組としては、これ以上は考えにくいので、市公用バス(マイクロバスなど)を利用しやすいようにして部活動の練習試合等で活用する、など市の協力が必要ではないかと考えます。
- ・修学旅行の方面の変更など、行事内容の改善を進めている。

### <その他>

子どもの将来の社会的経済的自立を目指した教育の充実や教育環境の改善が、子どもの貧困対策に資すると考えます。保護者家庭支援としての貧困対策と、子どもの自立支援に向けた貧困対策は、多くの視点と広い視野から考えていかなければならない課題と考えます。議会や議員、地域の方々の高い見識のもと、子どもの将来の自立に向けた取組や支援が充実することを願います。